

事業所名

花うさぎeきっず

支援プログラム

作成日

6年

12月

20日

法人（事業所）理念	「共に暮らせる、生き生きと活動できる社会づくりの実現」「個人の特性に応じた支援やスキルアップを目指す」「AI時代に輝く子どもを育てる」						
支援方針	自信をもって自分で出来ることを増やして自己肯定感を養い、卒業後を視野に入れた幅広い社会交流ができるようなスキルを身につける。						
営業時間	平日	10時	00分から	19時	00分まで	送迎実施の有無	あり なし
	学校休業日	9時	00分から	18時	00分まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活リズムを身につけ、身の周りの整理整頓、健康維持等の習慣化を行い自立に向け支援する。 【すらら学習・個別支援】 自分で何をするかアイデアを出しながら、自分の生活をマネジメントすることができるよう利用者の意向を受け止めながら、自分で組み立て、できる行動を増やしていけるよう支援する。					
	運動・感覚	姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用を行い、すらら学習やプログラミング療育で楽しみながら達成感を得られるように支援を行う。 【すらら学習・個別支援】 姿勢を維持してすららに取り組むことができるようトレーニングする。タブレットの使用時はカバーを装着。障害の状態や発達の段階、興味関心み応じてICTを活用する。					
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を充分活用して、これらの感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行う。 【すらら学習・個別支援】 物の機能や属性、形、色音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。					
	言語 コミュニケーション	利用者の特性によってツールを使い分け、パソコンやタブレット等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。 【すらら学習・個別支援】 コミュニケーションを円滑に行うためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係やそのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場の相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する。					
	人間関係 社会性	利用者が基本的な信頼関係を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。 【すらら学習・個別支援】 自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉える機会を通じて、気持ちや衝動を調整し、状況に応じた行動ができるよう支援する。					
家族支援	家庭や学校での様子の把握や、支援方法等の情報・目標の進捗状況を共有し、保護者と職員が統一した支援が行えるよう、自宅や事業所などで面談・相談援助を行い、目標に対する達成感などを共有する。	移行支援	地域社会への参加を重視し、可能な限り地域で多様な学習・体験・活動や居場所を確保できるよう、計画的かつ適切な支援を実施する。				
地域支援・地域連携	利用者が通う学校や他の放課後等デイサービス等との情報連携や調整、支援方法や環境の調整に関する相談援助、および担当者会議の開催を実施する。	職員の質の向上	虐待研修・スキルアップ研修など各種研修を計画的に実施し、職員全員が統一した支援ができるようスキルアップを行う。				
主な行事等	・季節のイベント・創作活動・クッキング活動・屋外活動・レクリエーション・音楽教室・球技大会・他事業所との交流等						